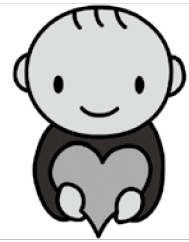


いっしょにぼ



～JUNIORボランティア～
 スクールサポーター
 (臨床心理士)
 小林 真理

学習障がいと将来の夢

「将来は○○になりたい」子どもの多くは自分の将来について夢や目標をもっているものです。それを叶えるために、苦手なことやイヤなことも、ひとつひとつ地道に乗り越えていきます。困難が伴うことや努力が必要になることは、誰でも同じなのですが、学習障がい(Learning disabilities:以下LD)の子ども達は、本人達の努力以上に保護者や家族の理解はもちろん、担任や教科の先生など、身近な周囲の大人の理解がとて大切になってきます。

「将来は○○になりたい」子どもは、普通には集団の中にいて過ごしているぶんには全く気付かれないことが多いので、「本人が何に困っているのか」「何が苦手なのか」「どんな工夫があればいいのか」などが、大人もまわりの子どもも、時には本人も「わからない」ことがあるのです。ある時、LD(読み障がい)と診断をされているAさんに話を聞いたところ、自分の状態について「低学年の頃はみんなも(読み取りは)わかんないんだと思ってた。でも3年くらいになったら、みんなは読めるんだってわかった。『ちゃんと言いなさい』とか『こだよ』と読むところを言われても、どうやって(文章を)わかるようになるのか、全然わかんなかった」と話していました。この子は教室ではいつもキョロキョロと周りを見回し、テンポが遅れて行動し始めるものの取り組めないまま、声をかけてもらったりじつくり教えてもらったのを待っている、といった様子でした。会話をする分には二コ二コとやりとりができていたので、「著しい学習のできなさ」に違和感がありました。そしてAさん本人も話していたように3年生頃から授業中でも机に伏せていたり、表情がものすごく暗く、話しかけてもそっけない返事が返ってくる。ことが目立ってきたため、保護者や担任の先生と相談し検査を実施しました。その結果を踏まえて、「学校でできる良い学習方法」を大人側が考え、実行に移したことで、笑顔も口数も

本来のAさんに戻り、「読むのはできないけど、いろんな工夫でできることもあるんだよ。難しいこともあるけど」と自分の苦手な部分をしっかりと受け止めた上で、取り組むことができるようになりました。

「将来はお菓子屋さんになりたい」と意欲をみせるAさん。両親も先生も「社会に出てから厳しいのはもちろんだけど、『読む』が付いて回る限りは厳しいです」と口を揃えつつも、「少しでも本人なりに克服(方法を身につける)できるように、今できることをやるだけです」と応援しています。そして「中高・専門学校と続く『学習環境』の中で、『単なるできない子』『やらない子』ではないことを、成長段階のその時々の人に理解し支援してもらったための手段の一つとして、家庭は受診して診断を受けました。

見た目では全くわからないLDですが、「知らない」ままであるのではなく、「こういう子どもがいること、一人ひとりが将来に夢や目標をもって『今』を頑張っていること、それを試行錯誤しながら支えている保護者や先生がいることを知り、私たちも応援できる」といいですね。

植物園だより

植物観察会とギャラリートークのお知らせ

とき 11月16日(日)
 10時30分から
 11時30分まで

講師 植物園園長
 内容 見頃の植物や、霜柱現象について紹介・説明します。

参加料 入園料のみ
 小学生以上
 1人1回100円
 (展示館入館料含む)

*申し込み不要
 *天候状況等により時間の短縮や観覧会を中止する場合があります。

秋の講演会
 とき 11月9日(日)
 13時30分から
 15時30分まで

講師 池田博氏(東京大学総合研究博物館准教授)

演題 ヒマラヤの花

定員 50名(先着順)

参加料 入園料のみ
 *官製はがき、電話・FAXで申し込んでください。
 *定員になり次第締め切ります。

【問い合わせ】
 植物園 ☎48-3337



シモバシラ(霜柱現象)

よく冷え込んだ日の朝、冬枯れたシモバシラの茎の根元に氷の結晶が見られることがあります。
 天候にもよりますが、11時頃までご覧いただけます。

◆11月花ごよみ(果実)

アオハダ、ウバユリ、ウメモドキ、ガマズミ、カラタチ、カンボク、シオデ、ソヨゴ、ナツハゼ、ハナヒヨウタンボク、ハマナス、ミヤマウメモドキ、ムラサキシキブ、ヤドリギ、ヤブサンザシ

(※主なものを掲載)